

角型自然給気レジスター

工事説明書／取扱説明書

この工事・取扱説明書は必ずお客様にお渡し下さい。
正しくお使い頂くために、この工事・取扱説明書を
よくお読み頂き、正しく上手にお使いください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守り頂くことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたとき生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。



注意

この表示欄は、【傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される】内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し説明しています。(下記は絵表示の一例です)



この絵表示は、してはいけない【禁止】の内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく【強制】の内容です。



注意



本体は十分強度のあるところにしっかり取り付ける。
落下により、けがをする恐れがあります。



部品は確実に取り付ける。
落下により、けがをする恐れがあります。



炎のあたる恐れのある場所には取り付けない。
プラスチック部品が変形したり、着火して火災となる恐れがあります。

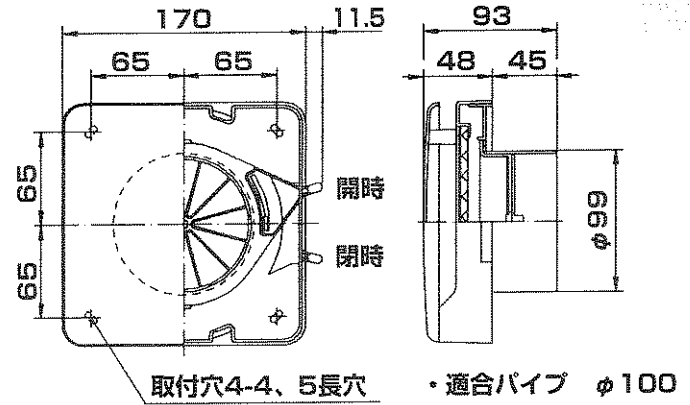
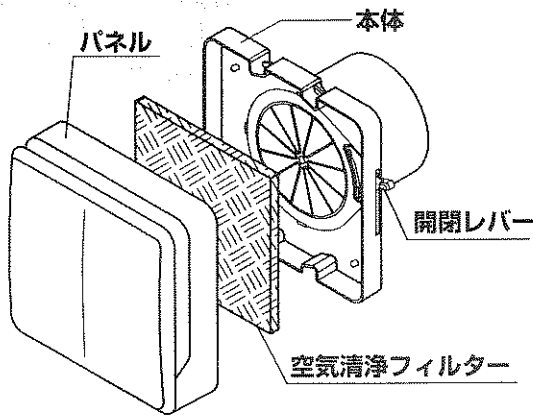


天井には取り付けない。
落下により、けがをする場合があります。

お願い

- 高温40℃以上になる場所や油煙の多い場所には取り付けしないで下さい。(変形や破損の原因になります。)
- 薬品や特殊ガスを使用する場合には取り付けしないでください。(変形や破損の原因になります。)
- お手入れ後、熱による乾燥はしないでください。(変形や変質の原因になります。)
- 台所用洗剤をお使いください。(住宅用・家庭用アルカリ性合成洗剤は変色や変質の恐れがあります。)
- 高い所での作業となりますので足場には十分お気を付けください。

給気レジスター各部名称・外形寸法図 単位 (mm)



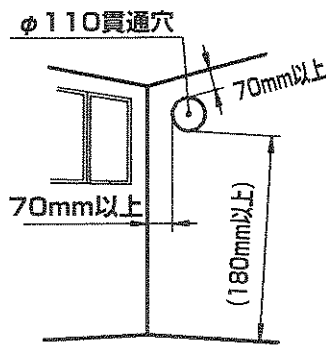
施工方法

以下の手順に従って施工してください。

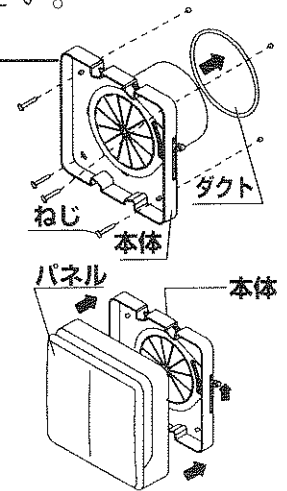
- 施工前にパイプフード・ダクトパイプφ100(SU管)を準備してください。
- 外壁・内壁工事が終了した段階で施工してください。

1. 空気の流れを考えて取り付け場所を決める。
2. 壁に貫通穴φ110を設ける。
(屋外へ下向きに1°-3°の傾斜を設けてください)

ダクトに断熱材を巻く場合には、断熱材の厚みを考慮して穴を開けて下さい。
3. 壁厚にあわせて、準備したダクトパイプφ100を切断します。



4. 壁にダクトパイプを埋め込み、パネルを外した本体を挿入し、ねじ(4本)で固定します。
5. パネルのフック部を本体の引っ掛け部に確実に取付ける。
6. 開閉レバーを上側に最後まで上げて【開】の状態にする。
7. ダクトパイプの外壁面に準備したパイプフードを取付けて回りをコーキング材にてコーキングします。



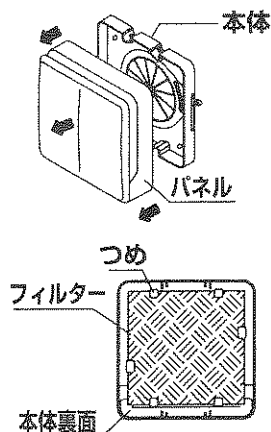
使いかた

- 通常は開閉レバーを最後まで上に動かし、【開】の状態にてご使用ください。
- 外の騒音が気になる場合や降雪が吹き込む場合には開閉レバーを下に動かして【閉】の状態にして下さい。

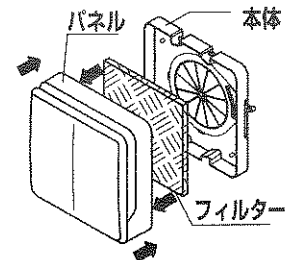
お手入れの仕方

(3ヵ月から6ヵ月に1回)

1. パネルの両側を持って手前に引いてパネルをはずします。
2. パネルの汚れを水又は台所用洗剤に浸した布で拭き取る。
3. フィルターを6カ所のつまめから取り外します。
4. 掃除機でほこりを吸い取る。汚れのひどい場合は、洗剤を入れたぬるま湯に浸し押し洗いをして自然乾燥させる。



5. フィルターをつめ6カ所にはめ込んで取り付け。
6. パネルのフック部を本体の引っ掛け部に確実に取り付け。



※フィルターは5,6回のお手入れを目安に、交換して下さい。
※取替用フィルターは代理店又は販売店で、お買い求め下さい。